



てつそく
鉄鏃

5



てつとう
鉄刀・鉄剣

てつそう
鉄槍

(恵解山古墳出土の鉄製品は、平成11年3月に京都府指定有形文化財に指定されています。)

前方部の調査では、鉄製農工具類もまとめて出土しています。鉄製武器類埋納施設とは別の施設もあったかもしれません。

とうす
刀子

てつがま
鉄鎌

すきさき
鋤先

じょうてつき
ヤス状鉄器

てつが
鉄斧

恵解山古墳公園



恵解山古墳とは・・・

恵解山古墳は、古墳時代中期に築造された全長約128mの乙訓地域最大の前方後円墳です。桂川右岸の標高約16mの台地の縁に造られています。周囲には、幅約30mの周濠があり、周濠を含めた古墳の全長は約180mに達します。

古墳は3段に築かれ、斜面には砂岩やチャートなどの川原石が葺かれ、各段と頂部平坦面には埴輪が並べられていました。後円部には、死者を埋葬したたてあなしきせきしつ(石室)があったとみられます。刀剣などの鉄製武器約700点が納められた前方部中央の埋納施設は全国的にも珍しいものです。恵解山古墳は、その規模や構造から5世紀前半頃に桂川右岸の乙訓地域を治めた支配者の墓と考えられています。

1

公園の入口



2

造り出し
古墳の両側につくられたマツリ場の



3

乙訓地域古墳群の模型



4

古墳のテラスや造り出しには約600本の埴輪が立ち並ぶ



鉄製武器類埋納施設